

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成25年11月14日

**【四半期会計期間】** 第49期第3四半期(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)

**【会社名】** 高橋カーテンウォール工業株式会社

**【英訳名】** TAKAHASHI CURTAIN WALL CORPORATION

**【代表者の役職氏名】** 取締役社長 高橋 武治

**【本店の所在の場所】** 東京都中央区日本橋室町3丁目2番15号

**【電話番号】** (03)3271 1711(代表)

**【事務連絡者氏名】** 執行役員管理部長 影山 信博

**【最寄りの連絡場所】** 東京都中央区日本橋室町3丁目2番15号

**【電話番号】** (03)3271 1711(代表)

**【事務連絡者氏名】** 執行役員管理部長 影山 信博

**【縦覧に供する場所】** 高橋カーテンウォール工業株式会社大阪支店  
(大阪府大阪市北区中之島三丁目2番18号)  
株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第48期 第3四半期 連結累計期間	第49期 第3四半期 連結累計期間	第48期
会計期間	自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日	自 平成24年1月1日 至 平成24年12月31日
売上高 (千円)	4,300,418	3,384,309	6,228,413
経常利益又は経常損失( ) (千円)	293,834	96,540	353,329
四半期純利益又は 四半期(当期)純損失( ) (千円)	307,136	131,187	384,557
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	279,427	172,765	350,198
純資産額 (千円)	3,105,571	3,207,261	3,034,743
総資産額 (千円)	10,643,755	8,353,022	9,979,217
1株当たり四半期純利益金額又は 四半期(当期)純損失金額( ) (円)	35.26	15.06	44.14
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	29.1	38.3	30.4

回次	第48期 第3四半期 連結会計期間	第49期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額又は 四半期純損失金額( ) (円)	13.92	2.37

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 第48期第3四半期連結累計期間及び第48期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期(当期)純損失であるため記載しておりません。

4. 第49期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社については、連結子会社であった株式会社TAWは、平成25年2月13日に清算終了しました。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間における、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、アベノミクスによる金融政策や経済対策に伴う円高の修正により輸出が持ち直し、公共事業の増加や個人消費の上昇によって緩やかに回復して、景気の先行きに明るい兆しが見られるようになってきました。

このような状況の下建設業界におきましては、東日本大震災の復興工事の本格化が期待されるものの、人手不足による労務費の上昇等の懸念は残るなか、当社企業グループは徹底したコスト管理と営業・生産の総合力で受注拡大を図っております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は33億84百万円(前年同四半期比21.3%減)、営業利益94百万円(前年同四半期は3億18百万円の営業損失)、経常利益96百万円(前年同四半期は2億93百万円の経常損失)、四半期純利益1億31百万円(前年同四半期は3億7百万円の四半期純損失)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### PCカーテンウォール事業

売上高は前年同四半期とほぼ同額でしたが、工場稼働率の向上と経費削減効果によって利益を確保できました。

この結果、売上高は29億85百万円(前年同四半期比2.8%減)、セグメント利益は1億13百万円(前年同四半期は3億15百万円のセグメント損失)となりました。

#### アクア事業

価額競争は厳しく、工事完成時機のズレもあり、売上は伸びませんでした。

この結果、売上高は2億40百万円(前年同四半期比32.7%減)、セグメント損失は11百万円(前年同四半期は3百万円のセグメント損失)となりました。

#### システム収納家具事業

スリム化を進めており大幅な減収となりました。

この結果、売上高は17百万円(前年同四半期比96.9%減)、セグメント損失は3百万円(前年同四半期は1百万円のセグメント利益)となりました。

#### 建設事業

営業力不足から売上を伸ばすことはできませんでした。保有不動産の売却により利益を確保できました。

この結果、売上高は1億40百万円(前年同四半期比55.4%減)、セグメント利益は27百万円(前年同四半期は9百万円のセグメント損失)となりました。

(2) 財政状態の分析

資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は83億53百万円と前連結会計年度末と比較して16億26百万円の減少となりました。これは主に現金預金が4億16百万円及び投資不動産が18億12百万円それぞれ減少し、未成工事支出金が7億72百万円増加したことによるものであります。

負債の状況

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は51億45百万円と前連結会計年度末と比較して17億98百万円の減少となりました。これは主に短期借入金が17億15百万円及び社債が2億21百万円それぞれ減少し、長期借入金が4億31百万円増加したことによるものであります。

純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は32億7百万円と前連結会計年度末と比較して1億72百万円の増加となりました。これは主にその他有価証券評価差額金が41百万円及び利益剰余金が四半期純利益の計上により1億31百万円増加したことによるものであります。

(3) 事業上および財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社企業グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更および新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

特記事項はありません。

(5) 従業員数

連結会社の状況

当第3四半期連結累計期間において、著しい増減はありません。

提出会社の状況

当第3四半期累計期間において、著しい増減はありません。

(6) 生産、受注及び販売の実績

当第3四半期連結累計期間において、生産、受注及び販売実績の著しい変動はありません。

(7) 主要な設備

当第3四半期連結累計期間において、主要な設備の著しい変動及び主要な設備の前連結会計年度末における計画の著しい変更はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	36,500,000
計	36,500,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	9,553,011	9,553,011	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 1,000株
計	9,553,011	9,553,011		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年9月30日		9,553,011		4,542,968		

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## (7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成25年6月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

## 【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 841,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,641,000	8,641	
単元未満株式	普通株式 71,011		
発行済株式総数	9,553,011		
総株主の議決権		8,641	

(注)「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式925株が含まれております。

## 【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 高橋カーテンウォール 工業株式会社	東京都中央区日本橋 室町3丁目2番15号	841,000		841,000	8.80
計		841,000		841,000	8.80

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に準拠して作成し、「建設業法施行規則」(昭和24年建設省令第14号)に準じて記載しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年1月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、八重洲監査法人により四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	607,502	191,291
受取手形・完成工事未収入金等	641,930	873,717
未成工事支出金	1,748,034	2,520,054
その他のたな卸資産	53,927	51,636
その他	68,425	51,743
貸倒引当金	1,050	-
流動資産合計	3,118,769	3,688,443
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	956,063	723,144
土地	1,554,864	1,381,674
その他(純額)	100,745	85,121
有形固定資産合計	2,611,673	2,189,940
無形固定資産	103,615	99,941
投資その他の資産		
投資有価証券	171,190	222,108
投資不動産(純額)	2,538,472	725,943
保険積立金	683,278	686,661
その他	799,215	786,670
貸倒引当金	46,997	46,687
投資その他の資産合計	4,145,158	2,374,696
固定資産合計	6,860,447	4,664,579
資産合計	9,979,217	8,353,022
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	777,070	744,543
短期借入金	3,839,109	2,123,390
1年内償還予定の社債	414,900	271,500
未成工事受入金	311,639	582,695
工事損失引当金	114,100	32,800
引当金	33,738	54,625
その他	272,536	94,294
流動負債合計	5,763,094	3,903,847
固定負債		
社債	424,000	202,500
長期借入金	44,443	476,131
役員退職慰労引当金	312,634	312,634
引当金	1,526	-
その他	398,776	250,648
固定負債合計	1,181,379	1,241,913
負債合計	6,944,473	5,145,761



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,542,968	4,542,968
利益剰余金	1,367,865	1,236,678
自己株式	153,899	154,035
株主資本合計	3,021,202	3,152,254
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,633	49,211
その他の包括利益累計額合計	7,633	49,211
新株予約権	5,908	5,796
純資産合計	3,034,743	3,207,261
負債純資産合計	9,979,217	8,353,022

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
完成工事高	4,300,418	3,384,309
完成工事原価	4,138,879	2,873,682
完成工事総利益	161,539	510,626
販売費及び一般管理費	480,519	416,278
営業利益又は営業損失( )	318,979	94,348
営業外収益		
受取利息	549	568
受取配当金	2,320	1,660
投資有価証券売却益	6,294	492
保険解約返戻金	56,015	10,364
投資不動産賃貸料	85,991	69,963
鉄屑売却収入	22,661	16,701
その他	45,973	20,833
営業外収益合計	219,806	120,585
営業外費用		
支払利息	60,645	53,012
投資有価証券評価損	2,348	815
不動産賃貸費用	61,488	48,999
その他	70,178	15,567
営業外費用合計	194,660	118,394
経常利益又は経常損失( )	293,834	96,540
特別利益		
固定資産売却益	-	161,883
特別利益合計	-	161,883
特別損失		
固定資産売却損	-	108,911
固定資産除却損	1,392	2,915
特別損失合計	1,392	111,826
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失( )	295,227	146,596
法人税、住民税及び事業税	7,804	7,713
法人税等調整額	4,105	7,695
法人税等合計	11,909	15,409
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失( )	307,136	131,187
四半期純利益又は四半期純損失( )	307,136	131,187

【四半期連結包括利益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失( )	307,136	131,187
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27,709	41,578
その他の包括利益合計	27,709	41,578
四半期包括利益	279,427	172,765
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	279,427	172,765

## 【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)
(連結の範囲の重要な変更) 連結子会社(株)TAWは、平成25年2月13日に清算終了しましたので、第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除いております。

## 【会計方針の変更等】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)
(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更) 当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。 なお、この変更による損益に与える影響は軽微であります。

## 【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
受取手形割引高	233,594千円	47,151千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)
減価償却費	141,894千円	109,605千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)

## 1. 配当金支払額

該当事項はありません

## 2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)

## 1. 配当金支払額

該当事項はありません。

## 2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	PCカーテン ウォール事 業	アクア事業	システム収 納家具事業	建設事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,071,457	358,096	556,730	314,134	4,300,418		4,300,418
セグメント間の内部売上高 又は振替高				14,722	14,722	14,722	
計	3,071,457	358,096	556,730	328,856	4,315,141	14,722	4,300,418
セグメント利益又はセグメント損失( )	315,680	3,348	1,170	9,393	327,252	8,272	318,979

(注)1 セグメント利益又はセグメント損失( )の調整額8,272千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失( )は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	PCカーテン ウォール事 業	アクア事業	システム収 納家具事業	建設事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,985,932	240,825	17,412	140,140	3,384,309		3,384,309
セグメント間の内部売上高 又は振替高				39,119	39,119	39,119	
計	2,985,932	240,825	17,412	179,259	3,423,429	39,119	3,384,309
セグメント利益又はセグメント損失( )	113,763	11,826	3,399	27,539	126,077	31,728	94,348

(注)1 セグメント利益又はセグメント損失( )の調整額 31,728千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額 又は四半期純損失金額( )	35円26銭	15円06銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額( ) (千円)	307,136	131,187
普通株主に帰属しない金額 (千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額 又は四半期純損失金額( ) (千円)	307,136	131,187
普通株式の期中平均株式数(株)	8,711,767	8,711,023

(注) 1 前第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

2 当第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月13日

高橋カーテンウォール工業株式会社  
取締役会 御中

八重洲監査法人

代表社員  
業務執行社員 公認会計士 齋 藤 勉 印

代表社員  
業務執行社員 公認会計士 三 井 智 宇 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている高橋カーテンウォール工業株式会社の平成25年1月1日から平成25年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年1月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、高橋カーテンウォール工業株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。